

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

トビイロウンカの発生状況(技術情報第5号)について(送付)

このことについて、早植え水稲及び普通期水稲におけるトビイロウンカの発生状況をまとめましたので、業務に御活用ください。

記

8月上旬に県内56ほ場で実施したトビイロウンカ発生状況調査では早植え及び普通期水稲ともに発生は確認されませんでした。

しかし、8月中旬以降は例年、発生が増加するため、ほ場での発生状況に引き続き注意が必要です。

1 発生状況

(1) 早植え水稲(5～6月上旬までの移植)

8月3日から5日に県内24ほ場で払い落とし調査を行った結果、幼虫及び成虫は確認されず(10株当たり頭数平年11.7頭)、10株当たり頭数、発生ほ場率ともに平年比少であった(表1)。

(2) 普通期水稲(6月中～下旬移植)

8月3日に県内32ほ場で払い落とし調査を行った結果、幼虫及び成虫は確認されず(10株当たり頭数平年0.7頭)、10株当たり頭数、発生ほ場率ともに平年比少であった(表1)。

2 防除対策について

(1) 発生状況を確認し、要防除水準(8月中～下旬:10頭/10株)を超える場合は、直ちに防除を行う。

なお、7月10日の飛来個体を対象とした場合の防除適期(第2世代幼虫)は表2のとおりである。

(2) トビイロウンカは水稲の株元近くに生息しているため、粉剤及び液剤は株元に付着するように散布する。

(3) 天候不順により粉剤及び液剤の散布が困難な場合は、粒剤による防除を行う。粒剤を使用する場合は、粒剤が水面に到達するように散布し、4～5日間湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしない。

(4) 飼料用米等の多肥栽培や栽培期間の長い品種では、多発する傾向があるので注意する。

(5) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守する。

また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行うなど、危害防止に努める。

表1 トビイロウンカの発生状況（10株当たり成幼虫数）

(1) 早植え水稻

地点名	成虫				幼虫			計	
	長翅 ♂	長翅 ♀	短翅 ♂	短翅 ♀	老齡	中齡	若齡		
早 植 え 水 稻	山鹿市鹿北1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市鹿北2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市菊鹿1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市菊鹿2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	阿蘇市狩尾1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	阿蘇市狩尾2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	阿蘇市的石1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	阿蘇市的石2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南小国町赤馬場1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南小国町赤馬場2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南阿蘇村久木野1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南阿蘇村久木野2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山都町入佐1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山都町入佐2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	甲佐町寒野1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	甲佐町寒野2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市二見町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市二見町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	芦北町大野1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	芦北町大野2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あさぎり町上1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	あさぎり町上2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	錦町一武1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	錦町一武2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均（24ほ場）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	成虫 計				0.0	幼虫 計		0.0	
計（成虫・幼虫）	0.0								
平年 ^{注2)}	17.4								
発生ほ場率	0.0%								
平年 ^{注2)}	62.2%								

注1) 1ほ場につき、30株調査を行った。

注2) 平年値は過去9年(2012年～2020年)の平均値。

(2) 普通期水稻

地点名		成虫				幼虫			計
		長翅 ♂	長翅 ♀	短翅 ♂	短翅 ♀	老齡	中齡	若齡	
普通期 水稻	熊本市画図 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市画図 2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市中無田 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市中無田 2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市富合町木原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	熊本市富合町平原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	宇城市松橋町 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	宇城市松橋町 2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉名市両迫間 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉名市両迫間 2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉名市横島 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	玉名市横島 2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市鹿央町 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市鹿央町 2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市鹿本 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	山鹿市鹿本 2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	菊池市赤星 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	菊池市赤星 2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大津町陣内 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	大津町陣内 2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	嘉島町上六嘉 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	嘉島町上六嘉 2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	益城町福原 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	益城町福原 2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市高田 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市高田 2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市鏡町 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	八代市鏡町 2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	芦北町花岡 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	芦北町花岡 2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	氷川町網道 1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	氷川町網道 2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均 (32 ほ場)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	成虫 計				0.0	幼虫 計		0.0	
計 (成虫・幼虫)	0.0								
平年 ^{注2)}	1.2								
発生ほ場率	0.0%								
平年 ^{注2)}	30.2%								

注1) 1ほ場につき、30株調査を行った。

注2) 平年値は過去9年(2012年~2020年)の平均値。

表2 予想されるトビイロウンカの適期防除

★7月10日飛来の場合（熊本県農業研究センター設置の予察灯初誘殺日）

地点	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇 乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第2 世代	8月 23日	8月 26日	8月 24日	8月 30日	8月 27日	9月 8日	8月 28日	8月 27日	8月 27日	8月 30日	8月 27日
	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
幼虫	9月 3日	9月 7日	9月 4日	9月 12日	9月 8日	9月 8日	9月 9日	9月 9日	9月 8日	9月 11日	9月 8日

注1) JPP ネットによる有効積算温度計算シミュレーション ver 2 を使用した。

注2) 各地点のアメダスデータ平均気温（8月10日までは実数の平均気温、11日以降は平年の平均気温）をもとに、下表の有効積算温度により発育ステージを予測した。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(°C)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

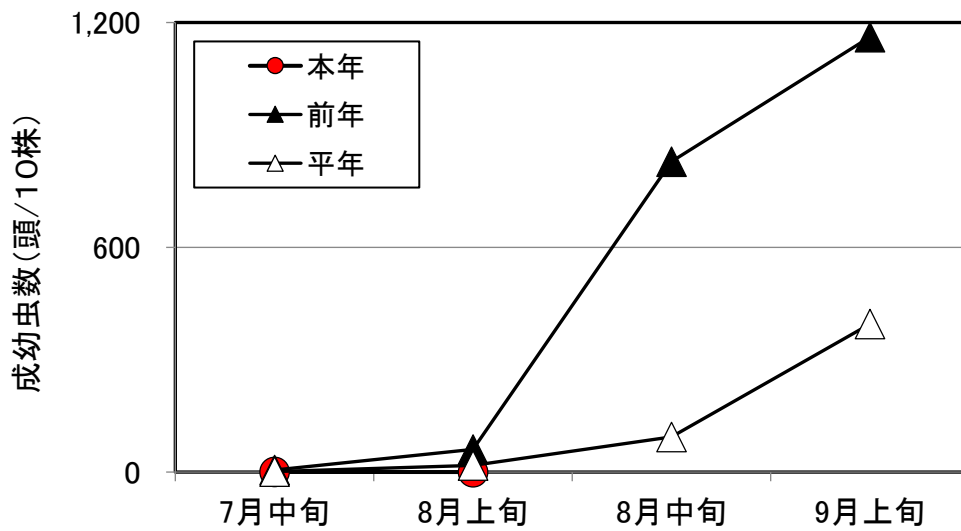


図1 早植え水稲におけるトビロウンカの発生推移

注1) 7月中旬は早期地域（天草地域）を含めた数値。

注2) 平年値は2011年から2020年の10年平均値。（8月上旬及び9月上旬は2012年から2020年の9年平均値。）

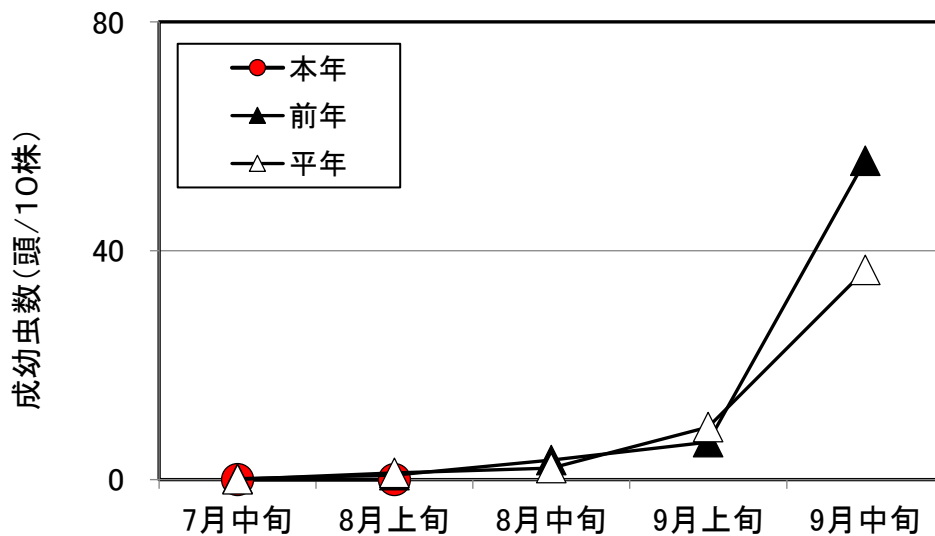


図2 普通期水稲におけるトビロウンカの発生推移

注) 平年値は2011年から2020年の10年平均値。（8月上旬及び9月上旬は2012年から2020年の9年平均値。）

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センター生産環境研究所
 予察指導室)
 担当：丹、作本 TEL 096-248-6490